



文京 白ばら

第 81 号

文京区明るい選挙推進協議会
文京区選挙管理委員会
〒112-8555 文京区春日1-16-21
☎ 5 8 0 3 - 1 2 8 7

題字 和田 清

令和8年2月8日執行衆議院議員総選挙
東京23区26市で投票率第1位

※詳細は次号

明るい選挙啓発ポスターコンクール審査結果

同コンクールは、「明るい選挙」の推進と若年層への啓発を兼ねて、毎年行っています。
作品は、これから作成するリーフレットなどに活用する予定です。

文京区優秀賞一覧



東京都優秀賞

(都立工芸高等学校)
大塚 うららさん



東京都最優秀賞
みんなのいいね♡賞

※都民のインターネット投票による選挙

(都立工芸高等学校)
江渡 茜さん



東京都入選

文京区最優秀賞

(第九中学校)
伊藤 明音さん



東京都入選

(都立工芸高等学校)
御神本 百香さん



東京都入選

(都立工芸高等学校)
清水 葵さん



東京都入選

(文林中学校)
小原 智美さん



東京都優秀賞

(都立工芸高等学校)
大倉 有紗さん

応募者：区内の小・中・高校生
応募総数：212点
ポスターコンクール協力校（感謝状の贈呈）：
文京区立窪町小学校、文京区立第十中学校、
貞静学園高等学校、都立工芸高等学校
・区の審査：最優秀賞1点、優秀賞：20点、入選：11点
・東京都と全国（中央）の審査：
東京都最優秀賞1点、優秀賞2点、入選6点
都から計9点を全国審査へ推薦



東京都入選

(都立工芸高等学校)
川畑 希羽さん



東京都入選

(都立飛鳥高等学校)
鈴木 皓斗さん



明るい選挙啓発ポスターコンクール審査結果

文京区優秀賞一覧



(都立工芸高等学校)
小泉 京吾さん



(都立工芸高等学校)
徳田 彩那さん



(本郷台中学校)
下瀬 佳央さん



(本郷台中学校)
宮島 玲子さん



(金富小学校)
福村 珠月さん



(都立工芸高等学校)
蜂谷 百花さん



(都立工芸高等学校)
高井 美空さん



(都立工芸高等学校)
須藤 患太さん



(都立工芸高等学校)
鈴木 蒼さん



(都立工芸高等学校)
佐藤 ひかりさん

文京区入選受賞者 (敬称略)

小学生の部			中学生の部		
学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名
お糸の女子大附属小学校	3	渡邊 碧人	第十中学校	2	小早川 櫻
東洋英和女学院小学部	2	中村百合香	第十中学校	2	篠 芽佳
窪町小学校	3	吉田 華	第十中学校	2	新田 奈々
窪町小学校	4	押尾 政宗	第十中学校	2	西村 美伶
本郷小学校	5	竹前友梨果	茗台中学校	2	麻生 美都
			第八中学校	3	沼田 紗希



(都立工芸高等学校)
小早川 美釉さん



(都立工芸高等学校)
穂刈 果宝さん

地区別座談会を2か所で開催

今年「若年層への啓発」を主なテーマとし、明るい選挙推進委員の方々に加え、学生団体 i vote と Vote at Chuo!! の若い方々にも参加いただき、様々な意見が交わされました。

「子どものころから家庭内で政治や選挙の話をするのが重要」「地域内で、もっと若い人たちと交流する場があるといい」との意見や、「若い方々の意見を受けて、今後はSNSや選挙アプリを活用してみたい」との声もあり、年代の違う方々で有意義な意見交換が行われました。



令和7年11月4日区民センターでの一コマ

管外視察

昨年は実施を予定していた時期に衆議院議員選挙があったため、1年ぶりの実施となりました。

11月18日(火)、千代田区にある国会議事堂(衆議院)と江東区にある中央防波堤埋立処分場に総勢40人の明るい選挙推進委員等で見学しました。

衆議院の参観では、天皇陛下がお休みになられる「御休所」をはじめ、本会議の開かれる印象的な「衆議院議場」、様々な意匠と工夫を凝らした貴重な建築美など、議会政治の歴史そのものを見学することができました。

埋立処分場では、廃棄物や地球温暖化問題などの現状、処分場の延命化やごみの減量への取り組みを学んだ後、バスに乗り、ごみの種類別の処理施設や海面処分場などを施設ガイドの方の説明とともに見学しました。見晴らしのいい場所で降車し、広大な埋立地を間近で眺めることもできました。

今回の管外視察もとても充実したものとなりました。





選挙出前授業

・模擬投票

将来を担う児童・生徒が選挙権を得たときに、積極的に投票所へ足を運んでもらえるよう、選挙に関する参加・体験型の授業を、学校からの依頼により実施しています。

実際の選挙と同じ素材で作られた投票紙を使用するなど、ほぼ忠実に再現された中で、投票から開票までの流れを体験していただいております。

今年度、実際に出前授業・模擬選挙を体験した生徒からは「今まではあまり感心や知識がなく、18才になっても選



挙するのかなと思っていたのですが、今では選挙に行きたくなりました」「本物の選挙に行ったかのような体験ができて、とても新鮮でした」「今回体験して、1票の重さについて実感しました。自分の1票でも、世界が動く気がしたので、来年は選挙に行ってみたい」「若者の投票率が下がっているのは、投票方法が難しいからだと思いますけど、すごい簡単で行きやすい」などの感想をいただきました。

令和7年度実施（予定）校

中学校：区立第一中学校・区立第六

中学校：区立茗台中学校・

区立音羽中学校

高等学校：私立獨協高等学校・筑波大学附属大塚特別支援学校



東洋大学團祭(白山祭)での啓発活動について

令和7年11月2日・3日に行われた東洋大学学團祭(白山祭)で啓発活動を行いました。

昨年は衆議院議員選挙の時期と重なり、参加できなかつたため、2年ぶりの参加となりました。

屋内の特設ブースにて、選挙にまつわるクイズや模擬投票を行い、参加された方にはオリジナル啓発グッズを配布しました。また、ブースの外では選挙管理委員、明るい選挙推進委員、事務局職員でティッシュなどの啓発グッズの配布を行いました。その際、めいすい君の着ぐるみに興味を持った親子連れの方や学生から「一緒に写真撮っていいですか」「何のキャラクター？」と声をかけられ、今年もめいすい君は大人気でした。

特設ブースには親子連れの方や学生さん、外国の方など様々な方々が足を運んでくださいました。クイズや模擬投票に参加された方からは「文京区が投票率1位であることに驚いた」「一人の一票は大切だと思う」等の意見がありました。



るびー



駒込地区
安達 良子

町会の方の紹介で立会を始め、数年後、令和6年より「明るい選挙推進委員」になりました。先輩方を見習い学ぶ事が多かったように思います。

一つは挨拶です。投票をされて帰られる方の姿に「ありがとうございます」「ありがとうございます」とお礼を言います。初めは一緒に言ったほうが良いのか戸惑いましたが、いつしか自然に声を出して立会人同士でハモっているような光景もありました。

寒暖差の激しい今日では投票にお越しいただく方々への感謝の気持ちをいつまでも持ち続けたいと思います。

二つ目は、近年お子様連れのご家族が多く、特にお子様はご自分で投票箱に入れないと思う行動に対し、今まではご両親の方へ「お子様と一緒に手を添えて投票をお願いします」と声をかけておりましたが、最近ではご両親の方が変わってしまっています。「十八歳になつてから投票しましょうね」と諭す言葉に「うん」と頷くお子様を多く見かけるようになりました。小・中学校でお子様を通して啓発が少しずつ、いろいろな所で形を変えて浸透しているように思います。うれしい限りです。これからも初心を忘れず「明るい選挙推進委員」を続けてまいります。



よくわかる政治と選挙のはなし(白ばらセミナー)

令和7年11月24日（月・振休）
文京シビックホール 小ホールで開催

【第一部】基調講演
講師：フリーキャスター
事業創造大学院大学客員教授
伊藤 聡子氏

第一部は、フリーキャスターの伊藤聡子氏を講師に迎え、ご自身の体験や見識を交えながら、投票に行く大切さ、自分の意見を持つことの重要性を軸に講演していただきました。多数のメディア出演経験やご自身が取材したからこそ感じ取れた考えや知見を、事例やデータを用いてとてもわかりやすくお話ししていただきました。来場者からは「わかりやすい講演で、すーっと頭に沁み込んできました。」伊藤先生の若者の政治関心動向の話や、高齢化、子育て支援につながる様々な事例紹介の話はとても新鮮で面白かったです。」と感想をいただき、大変ご好評で、あつという間の万分間でした。

【第二部】
若者フォーラム
～SNS時代の若者と選挙～

第二部ではコーディネーターとして、模擬選挙推進ネットワーク事務局長 林大介氏を中心に、異なる若年層啓発グループに所属する3人の登壇者と第一部講師の伊藤 聡子氏を交えて、「～SNS時代の若者と選挙～」と題して、パネルディスカッションを行いました。
選挙でもSNSが大きな影響を与える昨今、若年層が抱える想いや情報の取捨選択について、各々がもつ考えを述べ、若年層啓発グループでどのような活動をしていきたいか意見交換を行いました。



来場者の皆様も、選挙啓発、若者の政治参画、情報の選び方への話に、普段聞くことの出来ない各団体等の様々な意見に耳を傾けていました。その後、若年層の選挙への意識低迷や政治への無関心さと併せて、選挙におけるSNSの効果的な使い方、そこで得た情報の正確性の有無についてディスカッションしました。政治だけでなく、日常から自分の意見をもてたことが大切だと伊藤氏から助言をいただきました。今後、若年層の政治参画や選挙啓発にはSNSが必要不可欠になるという声や、だからこそ実際に顔を合わせて話し合う機会もかなり重要になるという声など、活発な意見が飛び交い、盛況の中の閉会となりました。

コーディネーター
林 大介氏
（模擬選挙ネットワーク事務局長／東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科准教授）
パネリスト
古橋 達也氏 （学生団体ivote）
木村 里歩氏
藤田 星流氏 （特定非営利活動法人DAKKO）
アドバイザー
伊藤 聡子氏 （第一部講師）

東京都明るい選挙推進大会 永年功労者表彰

令和7年11月21日（金）、令和7年度東京都明るい選挙推進大会が東京都府中市の「府中の森芸術劇場どりーむホール」で開催されました。文京区からは20年表彰を2名、10年表彰を1名の方が受賞されました。
式典後の講演では、読売新聞東京本社論説委員の湯本浩司氏から「不確かな連立政権の行方」というテーマで、昨年発足した高市内閣の今後についてや、ここでも聞けないような政治の裏話など興味深い話題に皆さん熱心に耳を傾けていました。
今回受賞された皆さまの永年にわたるご尽力とご活躍に対し、心より感謝申し上げます。



《20年表彰》
・磯川地区 和田 サワノ 委員
・首羽地区 松田 悦子 委員
《10年表彰》
・大塚地区 市川 秀子 委員

編集後記



二〇二五年は、日本の民主主義にとって大きな節目の年となりました。女性として初めて首相が誕生し、社会の在り方が確実に前進した一年でした。一方で、米をはじめとする物価高騰は、私たちの暮らしに重くのしかかり、政治の責任と役割が改めて問われました。そうした中、十八歳の有権者から寄せられた一票への感謝の言葉は、選挙が未来への参加であることを強く示しています。選挙管理に携わる者として、すべての声が公正に届く環境を守り続ける決意を新たに、国民一人ひとりが政治を身近に感じられる社会の実現へ向け、次の時代へと確かなつなげてまいります。
（山菅 佳奈 記）

選挙人名簿登録者数
（3月2日現在）

男性	87,767人
女性	99,553人
合計	187,320人

編集委員

- 窪寺 杏子・宇賀治みや子・藤井 一郎
 - 田中 輝夫・石川 良宣・山菅 佳奈
 - 武田 文夫・富所由紀子・安達 良子
- （地区順）